# 横浜市記者発表資料

# 修正版



令和5年3月6日 国際局国際連携課 経済局新産業創造課

# 世界から集いつながる国際都市・横浜の実現に向けた 国際コンベンションを開催します!

海外の多様な人々や企業を集め、市内のオープンイノベーションやクリエイティブな人材の集 積を図るため、開港の地である「国際都市・横浜」の魅力を世界に広く発信する国際コンベンシ ョン "Y-SHIP (ワイシップ)"を開催します。

当日は、大使館関係者や横浜で活躍される海外ゆかりの方々のスピーチ、パネルディスカッシ ョンを行うとともに、さまざまな関係者が相互に交流する場も設けます。ぜひご取材ください。

# Webinar 23rd March 2023 YOKOHAMA: Home to Japan's Pioneers -Gateway to global business, open port city



▲海外向けサイトバナー画像

## イベント概要

【日時】令和5年3月23日(木)10時から16時まで

会場詳細が確定しました。

【 主 催 】横浜市

【会場】横浜市役所(市会議事堂)3階 多目的室(全世界向け同時オンライン配信及びアーカイブ配信)

【内容】①オープニングセッション ②パネルディスカッション ※詳細は裏面参照

③ビジネスセッション

【参加方法】下記ウェブサイトからの事前登録が必要です。

https://y-ship-yokohama20230323.peatix.com



二次元バーコード

【使用言語】英語 (会場では同時通訳あり)

【対象者】海外とのビジネス、オープンイノベーション、次世代育成、国際交流等の分野に 関心のある企業、大学・高校等の教育関係者等の皆様に広くご参加いただけます。 ※当日は、参加者が相互交流できるネットワーキングを実施します。

#### 取材申込方法

日時を変更しました。

3月22<del>17</del>日(水金)12<del>17</del>時までに、下記メールアドレス宛てに、

[①貴社名、②代表者氏名、③電話番号、④人数]についてご連絡ください。

【取材申込先】ki-renkei@city.yokohama.jp

		-		
	HH	$^{\wedge}$	37.	先
7-7	нн	/	+	44-
~		$\Box$	13	71.

(イベント全体に関すること) 国際局国際連携課長 関谷 聡 Tel 045-671-4719 (スタートアップ施策に関すること) 経済局新産業創造課長 高木 秀昭 Tu 045-671-3913 (チュニジア・スファックス市セミナーに関すること) 国際局国際連携課担当課長 後藤 勝 Tel 045-671-4720

# 国際コンベンション Y-SHIP プログラム(予定)

# YOKOHAMA: Home to Japan's Pioneers - Gateway to global business, open port city -

#### 【午前の部】

# ① オープニングセッション

世界各地域のグローバルなリーダー(大使館関係者等)から、世界の動向や都市役割、グローバルなビジネスハブを目指す横浜への期待について語っていただきます。

### ② パネルディスカッション

# 「Why Yokohama?: Full of Opportunities and Livability」

横浜にゆかりのある海外企業・外国人材の視点から、ビジネスと快適な生活拠点としての横浜の様々な魅力を具体的な体験・経験を通して語っていただき、世界に発信します。

#### アレックス ラミレス氏



元プロ野球選手、元横浜 DeNAベイスターズ監督、 Vamos Together代表

### スチュアート ハリントン氏



アトラシアン株式会社 代表 取締役社長

#### ジョセフ アマト氏



Yokohama Seasider 編集長、株式会社7artscafe 代表

(3月15日(水)10時修正)

#### クリスティーナ フルステナウ氏



サンモールインターナショナルスクールマーケティング& コミュニケーションディレクター

## 【午後の部】

#### ③ ビジネスセッション

# ・横浜から繋がるグローバルなスタートアップ・エコシステム

横浜のイノベーション都市としての取組を世界に紹介するとともに、横浜との連携に関心をもつ米・欧・アジア各地域の海外スタートアップ・エコシステム関係者らに、その強みや横浜との連携に係る期待を語ります。

・中止となりました。

# <del>・チュニジア・スファックス市セミナー</del>

「アフリカに一番近い都市・横浜」として、過去3回に渡りTICAD(アフリカ開発会議)の開催地となった本市が、チュニジア・スファックス市との連携について紹介し、今後の本市や市内企業とアフリカとの更なるビジネス面での関係強化を図ります。

- ※セッション後には、<u>市内企業等の参加者と海外スタートアップ関係者等、参加者が相互交流できる</u> <u>ネットワーキング</u>を実施します。
- ※ <u>上記プログラムの詳細は内容が確定次第、順次情報をご提供します。また、現状記載の内容についても変更の可能性がありますので、予めご了承ください。</u>

#### 【参考】 Y-SHIP(ワイシップ)

横浜は開港以来、近代日本の玄関口として発展し、ユニークな港町としての魅力は世界の様々な 人々を惹きつけてきました。世界のあらゆる国から「船」が行き交い発展してきた横浜の歴史に思いを 馳せ、国際会議の名称を「Y-SHIP」と名付けました。